

## 授業科目、担当者（実務経験のある教員等含む）及び時間数の一覧

2022 年度

学校名	専門学校金沢美専
学科名	ビューティー総合学科

単位時間

区分	科目名	教員名	実務経験の有無	1年次		2年次		合計	
				前期	後期	前期	後期		
授業科目及び授業時間数表	専門科目	美容学Ⅰ	高崎 千愛	○		30		30	
		化粧品学	示野 雅枝	○	30	30		60	
		アロマ学	示野 雅枝	○	30	30		60	
		エステティック基礎	高崎 千愛	○	120			120	
		メイクアップ基礎	金作 純子	○	120			120	
		ネイル基礎	北野 美菜	○	120			120	
		サロンワーク実務Ⅰ	高崎 千愛	○		90		90	
		ビューティー応用実習Ⅰ フェイシャル実習 メイク実習Ⅰ ボディ実習 ネイル実習Ⅰ	示野 雅枝 金作 純子 高崎 千愛 北野 美菜	○		300		300	
	科目一般	サロンワーク接遇	杉原 美佐子		60			60	
		キャリア・デベロップメントⅠ	高崎 千愛		30	30		60	
	小 計（単位時間）					510	510		1020
	専門科目	美容学Ⅱ	高崎 千愛	○				60	60
		ビューティー応用実習Ⅱ エステ美容学（エステ専攻） メイク実習Ⅱ（エステ専攻） I C A Mエステ実習（エステ専攻） エステ実習（エステ専攻） I C A Mメイク実習（メイク・ネイル専攻） メイク実習Ⅱ（メイク・ネイル専攻） ネイル実習Ⅱ（メイク・ネイル専攻）	川尻 諭生 浜中 佑子 高崎 千愛 高崎 千愛 金作 純子 浜中 佑子 北野 美菜	○			300	300	600
		サロンワーク実務Ⅱ	上濱 しおり	○			150	90	240
		サロンマネジメント	高崎 千愛	○			30		30
科目一般		キャリア・デベロップメントⅡ	高崎 千愛	○			30		30
		ホームルーム	高崎 千愛					30	30
小 計（単位時間）						510	480	990	
合 計（単位時間）					510	510	510	480	2010
うち、実務経験のある教員の時間数（単位時間）					420	480	510	450	1860

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容学 I		ビューティー総合学科/1年	2022/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	高崎 千愛

## 授業の概要

解剖生理学を学修し、身体の仕組み・働き、美容との関連を理解する。

・肌トラブル、身体トラブル、健康トラブルの原因を検討出来、お客様へのホームケアアドバイスや技術提案が出来るようになる。  
・各種検定の合格基準までの回答が出来るようになる。(80%の正解率の獲得)

実務経験有無	実務経験内容
有	エステティシャンとして、10年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。

## 時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テーマ	内容
1	解剖生理学（人体の構成/細胞、組織、器官）	人体の構成成分について。細胞・組織・器官の違いと働きを知る。
2	解剖生理学（人体の骨組み/骨格、構造、連結）	骨の名称、基本構造について。骨と骨格を理解し、関連性を知る。
3	解剖生理学（人体の骨組み/骨格、作用、成分）	基本構造について知り、間接について理解する。骨の成分を知る。
4	解剖生理学（人体の主な筋肉、構造）	種類・特徴・マッサージ効果とは。骨格筋の働きと場所を理解する。（運動によって動く筋肉名を理解する。）
5	解剖生理学（神経系の中樞神経、抹消神経について）	神経系の働きがどのように作用するか知る。
6	解剖生理学（内分泌について特徴、種類、働き）①	内分泌とは何かを知り、働きを理解する。
7	解剖生理学（内分泌について特徴、種類、働き）②	各種内分泌の働きと関連性、肌への影響を理解する。
8	解剖生理学（循環器系について血液の循環経路）	心臓の構成と働き。循環経路、血液、リンパ液の働きを理解し、しマッサージとの関連性を学修する。
9	解剖生理学（消化器系の役割について）	消化器系の構造、働き、関連ホルモンの理解をする。
10	解剖生理学（呼吸器系の外呼吸と内呼吸）	呼吸器系の構造・働きを理解する。
11	解剖生理学（泌尿器系の構造と役割）	泌尿器系の構造・働きを理解し肌トラブルとの関連性を学修する。
12	解剖生理学（生殖器系の構造と働き）	生殖器について、女性のライフサイクル・性周期・肌との関連性について学修する。
13	解剖生理学（感覚器系の五感について）	感覚器系の構造と働きを学修し、職業に関連する五感の理解を深める。
14	解剖生理学（免疫系の分類、病気）	自然免疫と獲得免疫とそれに関係する細胞を理解する。

回	テ ー マ	内 容		
15	解剖生理学まとめ	知識を元に、サロンワークのカウンセリング対応を出来るようにする。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ベーシック エステティック学 (一般社団法人 ICAM日本支部)		期末テスト 小テスト	70.0% 30.0%	確認小テストで 理解が浅い部分の 復習を行う。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
化粧品学		ビューティー総合学科/1年	2022/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	示野 雅枝
授業の概要				
エステティシャンは化粧品を用いて施術を行い、美容部員は化粧品を販売することから、必要な化粧品知識（肌トラブル別の適した化粧品の選定・使用方法・特性）を学修する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚構造についてトラブル別に理解出来る</li> <li>・肌タイプの特徴が理解出来る</li> <li>・老化の外的要因・内的要因を理解出来る</li> <li>・美しい肌を作る知識を修得する</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして、20年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	学修内容		
1	間違えがちな美容知識のチェック①	基礎化粧品の基礎知識と肌悩みの対処法について理解する		
2	間違えがちな美容知識のチェック②	スペシャルケア、日焼け止め、メイクアップ、ヘアケア、ボディケアに関する化粧品の基礎知識の修得		
3	皮膚構造と仕組み①	皮膚構造、すくみと働き、皮膚が持つ防御機能を理解する		
4	皮膚構造と仕組み②	表皮のターンオーバー、基底層、真皮、皮膚の付属器官を理解する		
5	皮膚の機能と章まとめ	皮膚の仕組み、役割、機能、名称、図解を修得する		
6	肌の手入れと正しい知識	肌タイプと見分け方、季節と肌について理解する		
7	肌悩みの原因とお手入れ①	乾燥肌と保湿成分、お手入れ法を理解する		
8	肌悩みの原因とお手入れ②	ニキビ肌の原因、お手入れ法、予防法について理解する		
9	肌悩みの原因とお手入れ③	ニキビ予防における医学部外品の有効成分、ニキビ跡のお手入れ法について理解する		
10	肌悩みの原因とお手入れ④	毛穴についてタイプ別原因とお手入れ法を理解する		
11	肌悩みの原因とお手入れ⑤	シミのメカニズムと医薬部外品の有効成分について理解する		
12	肌悩みの原因とお手入れ⑥	シミのタイプ別原因とお手入れ方法について理解する		
13	肌悩みの原因とお手入れ⑦	くすみのタイプ別原因とお手入れ方法について理解する		

14	肌悩みの原因とお手入れ⑧	くまのタイプ別原因とお手入れ方法について理解する		
15	肌悩みの原因とお手入れ⑨	しわのタイプ別原因とお手入れ方法について理解する		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
日本化粧品検定2級・3級対策テキスト 日本化粧品検定2級・3級対策問題集		期末試験 小テスト 化粧品検定合格	50.0% 20.0% 30.0%	各講義でのノート と問題集を使用し 復習を行う

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
化粧品学		ビューティー総合学科/1年	2022/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	示野 雅枝
授業の概要				
エステティシャンは化粧品を用いて施術を行い、美容部員は化粧品を販売することから、必要な知識（肌トラブル別の適した化粧品の選定・使用方法・特性）を学修する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚構造についてトラブル別に理解出来る</li> <li>・肌タイプの特徴が理解出来る</li> <li>・老化の外的要因・内的要因を理解出来る</li> <li>・美しい肌を作る知識を修得する</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして、20年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	学修内容		
1	メイクアップの基本テクニック	各アイテムの基本的な使用法、選び方、顔型によつてのメイク法、ツール選びを理解する		
2	肌悩みに応じた化粧品の使い方①	毛穴、ニキビ、シミ、くま、赤ら顔、メイク崩れをカバーするメイク法の理解		
3	肌悩みに応じた化粧品の使い方②	各種肌トラブルの状態と改善法を理解する		
4	肌を劣化させるさなざまな要因①	外的要因・内的要因・代謝不良による肌への影響を理解する		
5	肌を劣化させるさなざまな要因②	ストレス・疲労・ホルモンの作用が肌に及ぼす影響を理解する		
6	肌を劣化させるさなざまな要因③	まとめ小テストを通し定着した知識の修得		
7	紫外線が肌に与える影響①	紫外線の種類・量・肌に及ぼす影響を理解する		
8	紫外線が肌に与える影響②	サンケア指数の理解と紫外線ケアについて理解する		
9	紫外線が肌に与える影響③	まとめ小テストを通し定着した知識の修得		
10	効果的なマッサージの必要性和方法	表情筋・リンパの特性を知り効果的なマッサージ法を理解する		
11	美しい肌を作る生活習慣①	睡眠がもたらす効果・美肌づくりの栄養・カフェインとの付き合い方を理解する		
12	美しい肌を作る生活習慣②	運動の種類による効果・入浴がもたらす人体への効果を理解する		
13	化粧品検定模擬試験①	模擬試験を通して自分の弱点を知り苦手知識の克服		

14	化粧品検定模擬試験②	模擬試験を通して自分の弱点を知り苦手知識の克服 前回の正解率から20%アップを目指す		
15	化粧品検定模擬試験③	模擬試験を通して自分の弱点を知り苦手知識の克服 時間内に全問解け正解率が80%を目指す		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
日本化粧品検定2級・3級対策テキスト 日本化粧品検定2級・3級対策問題集		期末試験 小テスト 化粧品検定合格	50.0% 20.0% 30.0%	各講義でのノート と問題集を使用し 復習を行う

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アロマ学		ビューティー総合学科/1年	2022/前期	講義、実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	示野 雅枝
授業の概要				
アロマセラピー活用が増え個人で楽しむだけでなくビジネスの場でも活用されている。アロマセラピーの目的を知り、正しい知識を学修し、これらの事を学生サロン（AER）での接客やサービスに生かせるようにする。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルスケア・ビューティーケアでの精油のメカニズムが説明できる。</li> <li>・アロマセラピーの活用法の説明が出来るようになる。</li> <li>・学生サロン（AER）で精油の効果・効果をお客様に説明できる。</li> <li>・アロマセラピー検定1級習得。</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして、20年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
アロマセラピー検定公式問題集で予習と復習を各時間ごとに行う				
1	(アロマ学) 香りのイメージ体験 アロマセラピーの起源、歴史	香りに対するイメージは？ 言葉の意味、代替医療としてのアロマセラピーを理解する		
2	実践①（利用法）	芳香浴法・沐浴法・吸入法・湿布法（実践）		
3	精油の基本①	様々な性質・芳香物質を分泌する目的・精油製造法を理解する		
4	精油の基本②	精油が心身に作用する経路・精油成分の薬理作用を理解する		
5	精油の基本③	症状別有効な活用方法・精油のための健康学、栄養学を理解する		
6	精油の基本④	嗅覚器から脳へ伝わる経路・皮膚からの経路について理解する。		
7	精油のプロフィール①	各精油の特性・機能を知り、香りを嗅いでみる(2級) 精油の詳細・作用を表にまとめる		
8	精油のプロフィール②	各精油の特性・機能を知り、香りを嗅いでみる(2級) 精油の詳細・作用を表にまとめる		
9	精油のプロフィール③	各精油の特性・機能を知り、香りを嗅いでみる(1級) 精油の詳細・作用を表にまとめる。植物の特徴を知る。		
10	精油のプロフィール④	各精油の特性・機能を知り、香りを嗅いでみる(1級) 精油の詳細・作用を表にまとめる。植物の特徴を知る。		
11	精油のプロフィール⑤	各精油の特性・機能を知る。効果・効果を調べ表にする。		
12	アロマセラピーと環境	地球環境と植物・日本人の暮らしと自然・便利で快適な暮らし、症状別ホームケア活用例で生活に取り入れる方法を考える		
13	アロマセラピーに関連する法律	精油・植物油・関連グッズ・トリートメントなど行為に関する法律を知る		
14	ハーブについて。アロマセラピーの健康学	ハーブとスパイス・植物園の始まり・ハーブ栽培・楽しみ方や栄養と健康（6つの栄養素）栄養バランスを理解する		



15	総合実践	総合演習・まとめ		
	教科書・教材		評価率	その他
	アロマセラピー検定公式テキスト (公益社団法人 日本アロマ環境協会) アロマセラピー検定公式問題集 (公益社団法人 日本アロマ環境協会)	提出物 小テスト 期末テスト	30.0% 20.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アロマ学		ビューティー総合学科/1年	2022/後期	講義、実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	示野 雅枝
授業の概要				
アロマセラピー活用が増え個人で楽しむだけでなくビジネスの場でも活用されている。アロマセラピーの目的を知り、正しい知識を学修し、これらの事を学生サロン（AER）での接客やサービスに生かせるようにする。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルスケア・ビューティーケアでの精油のメカニズムが説明できる。</li> <li>・アロマセラピーの活用法の説明が出来るようになる。</li> <li>・学生サロン（AER）で精油の効果・効能をお客様に説明できる。</li> <li>・アロマセラピー検定1級習得。</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして、20年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
アロマセラピー検定公式問題集で予習と復習を各時間ごとに行う				
1	検定ガイダンス	アロマセラピーの資格制度について学修する。		
2	検定対策①	精油のプロフィールを基に抽出部位、抽出方法別にグループ分けを行う。		
3	検定対策②	精油のプロフィールを基に香りの特徴を知り、香り当てを行う。		
4	検定対策③	精油の禁忌表作成し、検定に向けての対策。		
5	相手に合わせた精油選びを行う①	症状別ブレンド例と作用表をまとめ、禁忌を理解し、アドバイスが出来るようになる。		
6	相手に合わせた精油選びを行う②	症状別ブレンド例と作用表から、カウンセリングを行い、ホームケアアドバイスができるようになる。		
7	相手に合わせた精油選びを行う③	精油が心身に作用する経路・精油成分の薬理作用を理解する。		
8	アロマセラピーの利用法の実践①	自分の目的に合わせて精油を選びフェイシャルスチーム、吸入法を実践。		
9	アロマセラピーの利用法の実践②	ボディトリートメント用オイルを作成し、ハンド又はフットマッサージを相モデルで行う。		
10	アロマセラピーの利用法の実践③	効果効能を基に、自分の肌に合わせたパックを作成し実践		
11	クラフト作成①	自分の肌に合わせたローション作成（ボディ・フェイシャル）		
12	クラフト作成②	バスボム作り、自分の好みの色・香りで作成。		
13	クラフト作成③	アロマ石鹸等、自分の好みの色・香りで作成。		
14	クラフト作成④	ハンドクリーム、自分の肌に合わせたクリーム作成（ボディ・フェイシャル）		

15	クラフト作成⑤	エアーフレッシュナー、気分に合わせてエアーフレッシュナー作成。		
教科書・教材		評価率	その他	
アロマセラピー検定公式テキスト (公益社団法人 日本アロマ環境協会)		提出物	25.0%	
アロマセラピー検定公式問題集 (公益社団法人 日本アロマ環境協会)		期末テスト	50.0%	
		検定合否	25.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
エステティック基礎		ビューティー総合学科/1年	2022/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	高崎 千愛
授業の概要				
エステ（フェイシャル）の分野における基礎知識（例えば、なぜその手技を行うのか、行う事での効果は何か、どの部分に効果があるのか、どの筋肉・皮膚に効果があるのか、商材の成分にどんな効果があるのかなど）を、実際に相モデルで実践しながら学修する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相モデル（お客様の立場）で接客マナー（心配り）も合わせて理解できる。</li> <li>・皮膚のトラブルの違いでのマッサージが出来る。</li> <li>・サロンワーク実務（AER）の誘導から技術お仕上げまでが出来るようになる。</li> <li>・フェイシャルコースサーティフィケートフェイシャル習得</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして、10年間サロン運営やマネージメントの実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。 目的や効果は次回までに覚えてくる。				
回	テーマ	学修内容		
1～ 2	準備（教室の使用方法） フェイシャルの目的や効果について	フェイシャルの目的と効果、肌について理解する。 セッティング・身だしなみ・心構えを知る。		
3～ 4	事前準備 身だしなみ（衛生面）	セッティング（化粧品）ターバン・ドレーピング・誘導 施術がしやすい準備を知る。		
5～ 6	スポンジふき取り	圧が肌に与えるダメージを知る。 スポンジふき取りの目的を知り実践する。		
7～ 8	ホットタオルでのふき取り	肌への摩擦を知り、ホットタオルのレクチャー後実践する。		
9～ 10	ポイントクレンジング	ポイントクレンジングの目的を知り、レクチャー後、実践する。		
11～ 12	ふき取りの復習 通し練習①	ポイントクレンジング復習 ホットタオル・スポンジふき取り復習を行い通しての確認		
13～ 14	お顔全体のクレンジング①	全体のクレンジングの目的を知り、レクチャー後、実践する。		
15～ 16	お顔全体のクレンジング②	ポイントクレンジングから全体のクレンジング、ふき取りまでがスムーズに行えるようにする。		
17～ 18	通し練習②	誘導からクレンジングの全工程を20分とし、確認テスト。 マッサージでの体重移動の重要性を理解する。		
19～ 20	デコルテマッサージ①	心地よいデコルテトリートメントとを行う為、手の使い方・圧の違いでの感じ方をモデル時に体感する。		
21～ 22	デコルテマッサージ②	滑らかな手の動きが出来るようにする。		
23～ 24	通し練習③	デコルテマッサージを7分とし、確認テスト。		
25～ 26	復習	誘導・ポイントクレンジングからデコルテマッサージまでを一連の流れとし行う。		
27～ 28	フェイシャルマッサージ①	手技の効果・目的を実際の手の動きを用いて理解する。		

29～ 30	フェイシャルマッサージ②	肌の状態や手技の目的に合った力加減を実践する。		
30～ 31	フェイシャルマッサージ③	骨格、筋肉が把握されていて、肌に密着した動きを行う。		
33～ 34	フェイシャルマッサージ④	遅速、強弱などメリハリをつけて行う。		
35～ 36	フェイシャルマッサージ⑤	連続性があり流れるようにスムーズに行う。		
37～ 38	マッサージ強化	苦手な箇所の強化（リンパや血液の流れを確認する。）		
39～ 40	マッサージの流れの確認	フェイシャルマッサージを15分とし、確認テストを行う。確認テストの振り返りをし、弱点部分を知る。		
41～ 42	復習 コンサルテーションについて	弱点部分の実践。 コンサルテーションシートとは何かを知る。		
43～ 44	コンサルテーション記入①	肌の状態をを的確に捉え正しく分析し、説明がきちんと行えるようになる。		
45～ 46	ディープクレンジングについて パック（マスク）①	ディープクレンジングの種類、目的を知る。 パックの特徴成分と肌への作用を知る。		
47～ 48	コンサルテーション記入② パック②	肌の状態をを的確に捉え正しく分析する。 適量を均一の厚さに塗布する。		
49～ 50	コンサルテーション記入③ パック③	肌の状態をを的確に捉え正しく分析する。 細部に配慮しながら丁寧かつスピーディーに塗布する。		
51～ 52	ポイントクレンジングからお仕上げ まで通して行う。①	誘導から、お仕上げまで（コンサルテーション含む）をスムーズに行う。（スムーズに行えない事項の確認）		
53～ 54	ポイントクレンジングからお仕上げ まで通して行う。②	誘導から、お仕上げまで（コンサルテーション含む）をスムーズに行う。		
55～ 56	通し練習④	一連の流れを70分とし、確認テストを行う。		
57～ 58	苦手箇所強化	苦手箇所を洗い出し、苦手箇所ごとの班に分かれ、一連の流れをスムーズに行えるよう実践する。		
59～ 60	通し練習⑤	不快感がなく肌への負担がない施術。 滑らかな手の動き。無理のない体や手の使い方の確認。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
エステティック実技テキスト（フェイシャル）（ICAM日本支部）		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
メイクアップ基礎		ビューティー総合学科/1年	2022/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	金作 純子
授業の概要				
相手にメイクアップを施す際のマナーをはじめメイクアップの流れを学ぶ。時代背景と共に変化するメイクアップの特徴や歴史、メイクアップテクニックを学修する。TPOに合わせたメイクの特徴、メイクアップテクニックを理解する。				
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術者としての心構えとマナーを身につける。</li> <li>・ナチュラルメイクからイメージメイクアップまで、さまざまなメイクテクニックを理解し、メイクアップポイントや特徴を説明することができる。</li> <li>・テーマに合わせて自らタイトルとコンセプトを決め、イメージしたメイクアップを作品にする基礎知識を修得する。</li> </ul>				
回	テーマ	学修内容		
1~4	メイクアップ理念、基本作法	アーティストとしての心構えとマナーを理解する。1年間のカリキュラムの把握をする。		
5~8	皮膚の構造、骨、筋肉、色彩理念	顔の構造を正確に認識する。スキンタイプを知り、タイプに合わせたスキンケア法を理解する。		
9~12	スキンケア～ベース基本工程	メイクアップ前のスキンケア（化粧水→美容液→乳液→化粧下地）の目的と基本行程を理解する。コットン、スポンジの使い方と知りスキンケア行程に取り組む。相モデルにて練習に取り組む。		
13~16	スキンケア～ベース基本工程②	スキンケアの手順の復習。ベースメイク（メイクアップベース→コントロールカラー→ファンデーション→フェイスパウダー）の目的を理解する。相モデルにて練習に取り組む。		
17~20	アイメイク、アイブロウ基本工程	スキンケア手順、ベースメイクの復習。アイメイク（アイカラー、アイライン、ビューラー、マスカラ）とアイブロウ（トリミング、ドロ잉）のアイテムと目的を理解する。相モデルにて練習に取り組む。		
21~24	チーク、リップ、ハイライト・シェーディング基本工程	チーク、リップ、ハイライト・シェーディングの目的を理解する。相モデルにて練習に取り組む。		
25~28	基本工程の復習、確認	通しでフルメイクを行い、仕上がりを見て全てのバランスをチェックを行い調整する。		
29~32	プリメール対策①（パーツや輪郭からくる顔の印象、皮膚の生理と構造）	パーツバランスと印象、輪郭と印象を理解する。皮膚の構造を理解する。		
33~36	プリメール対策②（メイクアップ色彩理論）	基本的な色彩理論、色の三属性、色相環、トーンを理解する。		
37~40	プリメール対策③（メイクアップ色彩理論）	代表的な色のイメージ、PCCSトーン別のイメージ、混色、色の持つ力、配色方法、イメージタイプ別のカラーコーディネート学修する。		
41~44	プリメール対策④（メイクアップと印象）	メイクテクスチャー、フォルム、代表的なカラー、強弱によるメイクアップの印象を理解する。パーツや輪郭からくる顔の印象、皮膚の生理と構造についての確認テスト。		
45~48	プリメール対策⑤（筆記試験・実技試験対策）	筆記試験の類似問題を解く。ナチュラルメイクアップの練習を相モデルで取り組み、苦手パーツの克服を行う。		
49~52	SHOWメイク	ステージ上で映えるためのメイクポイントを学修する。		
53~56	ナチュラルメイクの復習とスモークメイク	アイホールからフレームライン向かって曲線的にぼかすメイクアップテクニックを理解する。		
57~60	アイシャドウバリエーション	目を切れ長にシャープに見せるためのメイクテクニック、目を立体的にシャープに見せるメイクテクニックを理解する。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
DMCI ディプロム・マキアージュ・クレアティブ・アンテルナショナル アヴァンセレヴェル (Why Not international creations)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期末試験</li> <li>・ 授業態度</li> <li>・ 提出物</li> </ul>	40.0% 30.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノートやプリントを使って復習。各日、メイク練習ごとに言われたアドバイスをノートに記録する。フェイスチャートの作成。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネイル基礎		ビューティー総合学科 1年	2022/前期	講義・実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	北野 美菜
授業の概要				
ネイリストでのとしてトラブルなく安全に施術を行うために必要な基礎知識・爪の構造学・扱う薬剤・溶剤の商材知識と理論(ネイルの薬剤の中には特定危険薬物第4種に認定されているような扱う上で危険なもの・揮発性の高いもの・人体への影響など知った上で扱わなければ危険と紙一重なものが多くあります)その上で正しく扱うために実際触れながら学修する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・爪の構造を知ることにより様々な爪の状態に対してどうアプローチしたら長持ちするかの対応力が上がりより良く理解する事ができる</li> <li>・商材を知る事でより安全にお客様へ提供出来る即戦力となるネイリストへの基礎レベルの向上を図る事ができる</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ネイリストとして4年間ネイルサロンの実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	学修内容		
1~4	教材配布・説明・試験について 学科とセッティング	教材内容の把握・試験内容・ネイリストとは?基本を理解・爪の構造と働き・テーブルセッティング・衛生面・手指消毒・ウッドスティックの作り方を行う		
5~8	学科・ケアの基本手順①	ネイルの歴史・プッシュアップの重要性とやり方(甘皮とは?などの皮膚学)・ファイリング(カットスタイル)を理解する		
9~12	学科・ケアの基本手順②	小テスト(カットスタイル・爪の構造と働き)・爪や皮膚の病気とトラブル・ファイリング・プッシュアップ・ガーゼクリーン・ニッパまでを行う		
13~16	学科・カラーリングの基本手順①	小テスト(爪の病気)・消毒法・カラーリングのやり方(ベース・カラー・トップ)ポリッシュオフ法・ポリッシュの扱い方・修正の仕方		
17~20	カラーリングの基本②~流れ	小テスト(消毒)・カラーリングライン取り強化(キューティクルライン・サイドライン)ムラなく手早く塗る(はみ出しを減らす)		
21~24	学科全般・検定施術の流れ	筆記対策として教科書チェック・施術の全体の流れ		
25~28	筆記検定対策① 施術強化	筆記テスト(A・B・C)・実技苦手箇所強化(ケア~カラーリング)		
29~32	筆記検定対策② ネイルアート	筆記テスト(D・E)アクリル絵の具を用いてアートの書き方・バランス・筆の扱い方を理解する(検定試験を軸とする)		
33~36	検定対策①行程チェック	検定試験に向けてひとつひとつの行程の見直し・実践・確認する		
37~40	検定対策②(ケア・カラー)完成度強化	検定試験に向けて本格的にタイムを計り仕上がりの完成度と時間配分を理解する		
41~44	検定対策③(ネイルアートまでの総合トータル)最終チェック	試験本番同様にタイムを計り学科・実技ともにトータルの流れを通して最終確認をし理解する		
45~48	検定対策④(ネイルアートまでの総合トータル)最終チェック	試験本番同様にタイムを計り学科・実技ともにトータルの流れを通して最終確認をし理解する		
49~52	検定試験とサロンワークの違い ジェルネイルの基本①	検定試験が終わりサロンワークの実践に必要な知識と違いについて理解する・ジェルネイルの基本(どういったものなのか、何を使うのか、アレルギー・材料の説明)		
53~56	ジェルネイルの基本②	ジェルネイルに使用する商材(薬剤・溶剤)と仕上げまでの流れをトータルの理解した後にワンカラー相モデルにて実践		

57～ 60	前期授業終了まとめ	今まで学んだ上での総まとめ実技・学科		
	教科書・教材	成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
	NPO法人日本ネイリスト協会（JNA）発行 テクニカルシステムベーシック	期末テスト 実習・実技評価 小テスト 検定試験	60.0% 20.0% 10.0% 10.0%	各講義で実施した 内容を教材などを 使用して練習・復 習すること



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サロンワーク実務 I		ビューティー総合学科/1年	2022/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	45回	90単位時間	必須	高崎 千愛

## 授業の概要

学生サロン（AER）で、店舗実習を行うに際して、エステ・メイク・ネイル等の技術、接客、カウンセリング等の技術修得、実際のサロンワークを実施出来るレベルまで学修する。

## 授業終了時の到達目標

- ・サロン接客、カウンセリングが出来る。
- ・ホームケアアドバイスが出来る。
- ・個々の肌や身体に合わせた技術が出来る。
- ・チームで働くことが出来る。
- ・目標達成が出来る。

実務経験有無

実務経験内容

有

エステティシャンとして、10年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。

## 時間外に必要な学修

講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

回	テーマ	学修内容
1～3	リラクゼーションサロン（AER）について。 ヘッドマッサージ（リラクゼーション）	AERについて（メニュー内容、金額、顧客の年齢層等） ヘッドマッサージレクチャー、効果を理解する。
4～6	ヘッドマッサージ （リラクゼーション）	ヘッドマッサージレクチャー 体重移動を理解し正しい場所を行えるようになる。
7～9	ヘッドマッサージ強化 技術チェック	ヘッドマッサージの強化（スピードやリズムを意識し、体重移動を行えるように実践） ヘッドマッサージの技術チェック
10～12	ヘッドマッサージ強化 技術チェック	スピード、リズム、体重移動を理解し正しい場所を行えるようになる。時間（20分）を見て施術を行う。
13～15	技術強化①	エステ：クイックマッサージでの体重の乗せ方を学修する ネイル：ネイルケアを30分で行えるよう時間を計り行う 全員：受付誘導、記入書類の説明が出来るよう実践
16～18	技術強化②	エステ：クイックマッサージの説明が出来、誘導・声かけを含め一連の流れで行う。 ネイル：ネイルカウンセリング方法を知り、相モデルで実践
19～21	技術チェック	エステ：クイックマッサージのカウンセリングから誘導、施術（40分）を行う ネイル：誘導ができ、ケアを行いながらカウンセリングを行う
22～24	技術強化③	エステ：ひざ下のムクミとりレクチャー、ムクミの原因を知り、説明が出来るようになる。 ネイル：ジェルネイル、ワンカラーを綺麗に10本仕上げる
25～28	技術強化④	エステ：ひざ下のムクミを取るための手技を増やす ネイル：ジェルネイル（ワンカラー10本）をケアを含めて掛かる時間を計り、短縮できる部分を洗い出す。
29～32	技術強化⑤ 技術チェック	エステ：ムクミとりのカウンセリングから誘導、施術（60分）、アフターカウンセリングを一連の流れとして行う ネイル：ケア含め、ジェルネイル（ワンカラー10本）を時間短縮して行
33～36	技術強化⑥ 技術チェック	エステ：アロマトリートメント、カウンセリング方法を知り実践 ネイル：定額デザインの内容・金額が説明出来るよう実践 全員：受付誘導、声かけの実践
37～40	サロン内での実践 技術強化⑦	エステ：アロマトリートメント、40分を時間内に行う ネイル：定額デザインの内容を2パターン実践 全員：アフターカウンセリングの内容を知る。
41～44	サロン内での実践 技術強化⑧	エステ：アロマトリートメント、60分を時間内に行う ネイル：定額デザインを2パターン以上行う 全員：アフターカウンセリングの実践
45～48	サロン内での実践 技術チェック	エステ：アロマトリートメントのカウンセリングから誘導、施術90分を一連の流れとして行う ネイル：デザインを決めて提案しジェルネイルを実践する。

49～ 52	サロン内での実践 技術強化⑨	エステ：フェイシャルトリートメントのカウンセリングを行い肌に合わせた機器を説明できるよう実践 コスメ：ジェルネイル（ワンカラー）を施術しながら化粧品の説明でき		
53～ 56	サロン内での実践 技術強化⑩	エステ：フェイシャルトリートメントのカウンセリングを行い肌に合わせた機器や商材を説明し実践 コスメ：ジェルネイルを施術しながら化粧品の説明できるよう実践		
57～ 60	サロン内での実践 技術強化⑪	エステ：フェイシャルトリートメントのカウンセリングを行い肌に合わせた機器や商材を説明し実践 コスメ：ジェルネイルを施術しながら化粧品の説明できるよう実践		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
エステティック実技テキスト（ボディ編） （ICAM日本支部 発行） JNAテクニカルシステムベーシック改正版 （NPO法人日本ネイリスト協会 教育委員会） エステティック実技テキスト（フェイシャル編）（ICAM日本支部 発行）		サロン評価 身だしなみ 準備物	50.0% 25.0% 25.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビューティー応用実習Ⅰ (フェイシャル実習)		ビューティー総合学科/1年	2022/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	示野 雅枝
授業の概要				
フェイシャル機器の安全な使用方法を知る。機器使用での効果。どの部分に効果があるのか、どの筋肉・皮膚に効果があるのか、商材（種類の違うパック）の成分にどんな効果があるのかを、実際に相モデルで実践しながら学修する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェイシャル機器を安全に扱う事が出来る。</li> <li>・フェイシャル機器での注意事項や禁忌事項の説明が出来るようになる。</li> <li>・フェイシャル機器・商材を肌別に選べるようになる。</li> <li>・カウンセリングから肌診断を行う事が出来る。</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして、20年間サロン運営やマネージメントの実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。 各機器の禁忌事項、注意事項を次までに覚えてくる。				
回	テーマ	学修内容		
1～ 2	機器 フェイシャル機器①	機器（キッシング） 使用目的をしり、使用方法を学ぶ。 相モデルにて実践する。		
3～ 4	機器 フェイシャル機器②	機器（リンパパー） 使用目的をしり、使用方法を学ぶ。 相モデルにて実践する。		
5～ 6	機器 フェイシャル機器③	機器（イオン導入） 使用目的をしり、使用方法を学ぶ。 相モデルにて実践する。		
7～ 8	ディープクレンジング	ディープクレンジングとは何か。 効果と使用方法をしり実践する。		
9～ 10	カウンセリング①	使用化粧品、目的、肌診断ができるようにする。 カウンセリングにて化粧品を選ぶ事ができるようにする。		
11～ 12	カウンセリング②	肌診断をし、トリートメント内容を構成できるようにする。 アドバイス方法（施術中）		
13～ 14	カウンセリング③	肌診断をし、トリートメント内容を構成できるようにする。 アドバイス方法（ホームケア）		
15～ 16	パックの種類①（商材を知る）	ゼラチノールパック。使用目的をしり、使用方法を学ぶ。 相モデルにて実践		
17～ 18	パックの種類②（商材を知る）	石膏パック。使用目的をしり、使用方法を学ぶ。 相モデルにて実践		
19～ 20	肌別	カウンセリングを行いカルテ作りをしモデルの肌に合わせ 使用商材・機器を選ぶ事ができるようにする。		
21～ 22	通し練習①	模擬試験（フェイシャル機器やパックの選び方が正しく できるかの確認。）		
23～ 24	フェイシャル強化	苦手箇所強化（前回の確認の振り返りをし、正しくできな かった所の洗い出しをする。）		
25～ 26	模擬試験	模擬試験（相手に合わせたものを使用できているかの確認。		
27～ 28	通し練習②	カウンセリングを行い、モデルの肌に合わせ使用商材・機 器を選ぶ事ができるようにする。		

29~ 30	通し練習③	苦手箇所強化（カウンセリングでの聞き出しから、相手に合わせて、機器・商材を選べ、説明が出来るか確認）		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
エステティック実技テキスト（フェイシャル編）（ICAM日本支部 発行）		期末試験 身だしなみ 準備物	50.0% 25.0% 25.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビューティー応用実習Ⅰ (メイク実習Ⅰ)		ビューティー総合学科/1年	2022/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	60回	120単位時間	必須	金作 純子
授業の概要				
相手にメイクアップを施す際のマナーをはじめメイクアップの流れを学ぶ。時代背景と共に変化するメイクアップの特徴や歴史、メイクアップテクニックを学修する。TPOに合わせたメイクの特徴、メイクアップテクニックを理解する。				
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術者としての心構えとマナーを身につける。</li> <li>・ナチュラルメイクからイメージメイクアップまで、さまざまなメイクテクニックを理解し、その特徴を説明することができる。</li> <li>・テーマに合わせて自らタイトルとコンセプトを決め、イメージした作品を作り出す基礎知識を修得する。</li> </ul>				
回	テーマ	学修内容		
1~4	イメージメイク(キュート・セクシー)	イメージに合った、パーツごとのメイクテクニックやイメージカラーを理解する。		
5~8	イメージメイク(フレッシュ・クール)	イメージに合った、パーツごとのメイクテクニックやイメージカラーを理解する。		
9~12	・年代別メイク① ・ブライダルウェディングドレス	1920sのメイクの歴史を知り、バリエーションを増やす。ウェディングドレスに合ったメイクを理解する。		
13~16	・年代別メイク② ・ブライダルカラードレス	1930sのメイクの歴史を知り、バリエーションを増やす。カラードレスに合ったメイクを理解する。		
17~20	・年代別メイク③ ・ブライダル白無垢	1940sメイクの歴史を知り、バリエーションを増やす。白無垢に合ったメイクを理解する。		
21~24	・年代別メイク④ ・特殊メイク(傷、火傷メイク)	1950sのメイクの歴史を知り、バリエーションを増やす。特殊メイクの工程を知り、実践する。		
25~28	・年代別メイク⑤ ・ブライダル色打掛	1960sのメイクの歴史を知り、バリエーションを増やす。色打掛に合ったメイクを理解する。		
29~32	・年代別メイク⑥・⑦	1970s・1980sメイクの歴史を知り、バリエーションを増やす。		
33~36	チーム別メイクアップ	チーム別にテーマ、コンセプト、役割を考え、テーマに沿ったメイクアップの表現法と技術を身につける。		
37~40	チーム別メイクアップ発表会	メイクの改善を行い、各チーム発表を行う。		
41~44	・年代別メイク⑥ ・テーマ別メイク①(春)	1990sのメイクの歴史を知り、バリエーションを増やす。テーマ(春)から、タイトルとコンセプト、メイクイメージをし、フルメイクで表現する。		
45~48	53~54: テーマ別メイク②(夏) 55~56: テーマ別メイク③(秋)	春・夏のテーマから、タイトルとコンセプト、メイクイメージをし、フルメイクで表現する。どこにポイントをおいてメイクアップをしたのかを人に伝えるようなテクニックを学修する。		
49~52	・テーマ別メイク④(冬) ・テーマ別メイク⑤(country)	冬、countryのテーマから、タイトルとコンセプト、イメージメイクをし、フルメイクで表現する。		
53~56	・テーマ別メイク⑥(レプリカメイク)	メイクブランドのイメージ広告から、メイクの特徴、ポイントとなる部分がどこにあるかを考え、忠実に再現するためのメイクテクニックを学修する。		
57~60	期末テスト対策	課題の発表。課題を理解しタイトル・コンセプトを決め、実践練習を行う。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
DMCI ディプロム・マキアージュ・クレアティブ・アンテルナショナル アヴァンセレヴェル (Why Not international creations)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末試験</li> <li>・授業態度</li> <li>・提出物</li> </ul>	40.0% 30.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノートやプリントを使って復習。各日、メイク練習ごとに言われたアドバイスをノートに記録する。フェイスチャートの作成。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビューティ応用実習Ⅰ (ボディ実習)		ビューティー総合学科/1年	2022/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60時間	必須	高崎 千愛
授業の概要				
ボディマッサージでは、手技の目的、その効果、どの部分に作用するのか、身体構造と手技の作用を理解し、リラクゼーション目的のボディマッサージを全身に施せる技術修得をする。また、個々の不調箇所に対応できる技術の修得をしお客様に合わせたボディマッサージが出来るようになる。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディトリートメントを行う際に正しい姿勢で行える。</li> <li>・手技の目的や効果が説明できる。</li> <li>・骨格や筋肉に合わせて手の使い方、圧の加減が出来る。</li> <li>・全身のトリートメントが出来る。</li> <li>・コースサーティフィケート（ボディ）が習得出来る。</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして、20年間サロン運営やマネージメントの実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。 手順は次までに覚えてくるようにする。				
回	テーマ	学修内容		
1~2	ボディマッサージとは？ コンサルテーションシート	マッサージの目的と効果を知る。人体の名称と区分を理解し、スタンスと基本6手技についての目的を理解し実践する。体重移動を理解する。		
3~4	背面下肢部	背面下肢部デモンストレーションを行いながらのレクチャー。筋肉の位置や方向を理解する。		
5~6	背面下腿部	むくみのメカニズムを理解する。むくみを改善させる手技を知り実践する。リンパやリンパ節の位置や場所を理解する。		
7~8	背部	背面部デモンストレーションを行いながらのレクチャー。筋肉の位置や方向を理解する。		
9~10	肩凝り対応技術	肩がこる時の筋肉を理解する。肩から首のトリートメント手技を学び実践する。		
11~12	背面下肢、背部の技術通し	背面下肢、背部のトリートメントを行い、ふき取りまでを30分とし行う。		
13~14	筋肉ほぐし施術	洋服の上から背面のコリをほぐすための手技を学び、実践する。		
15~16	前面下肢部	前面下肢部デモンストレーションを行いながらのレクチャー。筋肉や骨の位置や方向を理解する。		
17~18	前面下腿部	全面下肢部の応用としてムクミ取り手技を学ぶ。		
19~20	腹部 便秘の方への応用技術	筋肉や骨の構造を理解し、内臓の位置に対して的確なアプローチ方法を知る。大腸に対しての技術応用を学ぶ。		
21~22	上肢部、胸部	全面上肢部、胸部デモンストレーションを行いながらのレクチャー。効果・目的を理解する。		
23~24	前面全体の技術通し	前面下肢、腹部、上肢部、胸部のトリートメントを行い、ふき取りまでを30分とし行う。		
25~26	筋肉ほぐし施術	洋服の上から全面のコリをほぐすための手技を学び、実践する。		
27~28	総合演習① コンサルテーションシート	苦手箇所強化（カウンセリングでの聞き出しから、相手に合わせて圧の加減が出来るか確認）		

29~ 30	通し練習①	全体を通して55分で一連の流れをスムーズに行い、無理のない体重移動の確認。(下肢、上肢は左右のどちらかのみで行います。)		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
エステティック実技テキスト(ボディ編) (ICAM日本支部 発行)		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビューティー応用実習Ⅰ (ネイル実習Ⅰ)		ビューティー総合学科1年	2022/後期	講義・実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	北野 美菜
授業の概要				
サロンワークでのネイルに関してのサービスをお客様へ提供する上での配慮事項(例えば試験は仕上がりの完成度で合否が決まるがサロンワークはお客様へ施術した際その後の経過・長持ちする技術と知識が必要となるなどの基礎的な知識や技能を学修する。				
授業終了時の到達目標				
学生サロンでの高い技術の提供が可能となる 実践方式で提供出来る幅が広がる事によりリピートして頂くお客様を増やすことが可能となる 実践を重ねることにより施術する際の自信に繋がる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ネイリストとして4年間ネイルサロンの実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	学修内容		
1~2	ジェルネイルの基本③	ワンカラー相モデルにて実践・ジェルネイルの落とし方・アセトン溶剤で溶かす方法		
3~6	サロンワークジェルネイル (プレパレーション・マシーンケア)	土台となるベースジェルの重要性・定着不足を起こさない為のプレパレーションを理解する		
7~10	サロンワークジェルネイル (ワンカラー)	綺麗にムラなくキューティクルラインからカラーを塗布する特性を実践を交えて理解する		
11~12	サロンワークジェルネイル (マシーンオフ)	付けたジェルネイルをマシーンをういて削って除去する技法の工程を理解する		
13~14	サロンワーク (接客・カウンセリング)	技術ばかりでは成り立たない接客・カウンセリングの重要性とやり方を理解する		
15~20	サロンワークジェルネイル (ワンカラー)	相モデルを組んで施術者・お客様・両方を体感することにより理解する(カウンセリング~デザイン~仕上げまで)・トータル施術時間と仕上がりの改善点を知り理解する・各々・苦手な工程を強化し取り組む		
21~22	サロンワークジェルネイル (アート基本編)	基本のアート(丸・直線・カーブ・細さ・太さ・筆圧)の書き方を理解し実践する		
23~24	サロンワークジェルネイル (アート応用編)	ジェルを使ったネイルアートを様々な技法で描く方法を理解する		
25~28	サロンワークジェルネイル (フットネイル)	フットケア理論・トラブル爪に対する対処法等・ジェルの工程を理解する		
29~30	1年授業終了まとめ	今まで学んだ上での総まとめ実技・学科		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
NPO法人日本ネイリスト協会 (JNA) 発行 テクニカルシステム		期末テスト 実習・実技評価	70.0% 30.0%	各講義で実施した内容を教材などを使用して練習・復習すること



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サロンワーク接遇		ビューティー総合学科/1年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	必須	杉原 美佐子
授業の概要				
接遇の基本の習得が本科目の目的である。接遇ができるようになるだけでなく、サービス提供者としての資質を身に付け、組織の一員となれるよう社会人としての意識の醸成を通して、社会人としての心構えなどを修得する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語・接遇用語が話せる</li> <li>・美しい立ち居振る舞いができる</li> <li>・サロンでお客様対応ができる(受付・ご案内・お見送り)</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
テキストの事前学修とプリントの振り返りを必ず実施すること。				
回	テーマ	内容		
1	社会人の心構え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の計画を知る</li> <li>・社会人の行動と考え方</li> </ul>		
2	基本行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本動作(あいさつ・立つ・座る・入室の仕方)</li> <li>・3種類の挨拶</li> </ul>		
3	敬語のマナー/敬語の基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語の基本</li> <li>・尊敬語・謙譲語・丁寧語</li> </ul>		
4	敬語のマナー/接遇用語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クッション言葉</li> <li>・大人の表現(副詞の改まり語)</li> <li>・敬称の使い分け</li> </ul>		
5	敬語のマナー/言葉遣いのまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間違っている敬語(二重敬語・謙譲語の誤用)</li> <li>・接遇としての言い方</li> </ul>		
6	敬語のマナー/言葉遣い演習 基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉遣いの基礎演習</li> </ul>		
7	敬語のマナー/言葉遣い演習 応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉遣いの応用演習</li> </ul>		
8	敬語のマナー/言葉遣い演習 総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉遣いの総合演習</li> </ul>		
9	来客対応/受付から見送りまで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付の基本</li> <li>・名刺交換</li> <li>・来客誘導</li> <li>・見送り</li> </ul>		
10	来客対応/席次とお茶出し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・席次の基本</li> <li>・茶菓子接待のマナー</li> </ul>		
11	来客対応/ロールプレイング演習基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出迎え</li> <li>・見送り</li> <li>・案内</li> </ul>		
12	来客対応/ロールプレイング演習基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付</li> <li>・名刺交換</li> <li>・名乗り</li> </ul>		
13	来客対応/ロールプレイング演習総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来客対応の総合ロールプレイング</li> </ul>		
14	来客対応/ロールプレイング演習応用(前半)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンを想定した来客対応の演習</li> <li>出迎え～案内</li> </ul>		

回	テーマ	内 容		
15	来客対応/ロールプレイング演習応用(後半)	・ サロンを想定した来客対応の演習 カウンター誘導～見送り		
16	電話対応/電話の基本	・ 電話対応の基本 ・ 話し方 ・ 携帯電話のマナー		
17	電話対応/電話をかける	・ 電話のかけ方		
18	電話対応/電話を受ける	・ 電話の受け方 ・ 取り次ぎ方		
19	電話対応/不在対応	・ 不在対応 ・ 伝言メモの書き方		
20	電話対応/ロールプレイング演習基礎	電話対応の演習（かける・受ける）		
21	電話対応/ロールプレイング演習応用	電話対応の演習（不在対応）		
22	ビジネス文書/基本	・ ビジネス文書の種類 ・ 基本的な書き方		
23	ビジネス文書/社内文	・ 社内文書のフォーマット ・ 作成のポイント		
24	ビジネス文書/社外文	・ 社外文書のフォーマット ・ 手紙用語		
25	ビジネス文書/メール	・ ビジネスメールのマナー		
26	ビジネス文書/演習	・ 社内文書の作成（報告書・議事録） ・ 社外文書の作成（案内状）		
27	ビジネス文書/郵便の知識	・ はがきの書き方 ・ 封書の書き方		
28	一般的な交際/冠婚葬祭	・ 慶事のマナー ・ 弔辞のマナー		
29	一般的な交際/贈答	・ 贈答のマナー		
30	コミュニケーションと人間関係	・ 上司、先輩、同僚との付き合い方 ・ お客さまとの会話		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
テキスト： 女性のビジネスマナー パーフェクトブック		学期末試験（演習課題） 提出物	70% 30%	各回で配布したプリント・およびノートを復習すること。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャリア・ デベロップメントI		ビューティー総合学科/1年	2022/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	高崎 千愛
授業の概要				
就職活動に向けて、自分が思う長所・短所、他人が思うそれとの違いを分析し、自己アピールの際での表現力の育成を目指す。あわせて、履歴書、志望動機、面接に於ける応答内容の学修。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容業界を知り、進む業界を明確にすることが出来る。</li> <li>・自己分析を行い自分の長所・短所が説明できる。</li> <li>・文章で自分の思いを伝え事が出来る。</li> <li>・自分の思いを言葉で相手に伝える事が出来る。</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして、10年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
授業内で作成出来なかったワークは宿題とする。予習と復習を各時間ごとに行う				
回	テーマ	学修内容		
1	専門学生としての決意 自分を成長させるために	「高校生と専門学生との違い」についてのディスカッションで成長させる部分を見つける。		
2	業界リサーチ①	エステ・ネイル・BAとはどんな業界かをグループで調べる。(1チーム4名)		
3	業界リサーチ②	業界を調べて分かった事を発表。		
4	企業リサーチ①	エステ・ネイル・BAの企業をグループで調べる。(1チーム4名)		
5	企業リサーチ②	どういった企業があったかを見直し、素晴らしいと感じた企業を発表。(素晴らしいと感じた部分を伝える)		
6	働きたい業界・職種 未来の自分を思い描く	働きたい業界・職種はどんな人材を求めているのかを学ぶ。		
7	学生生活と社会人生活の違いについて	学生と社会人との違いを知り、社会人に求められる心構えを学ぶ。		
8	自己分析①	自分の過去を振り返り、自分の性格(長所・短所)や資質、能力を発見する。		
9	自己分析②	自分は何が出来て、どう行動する事ができるのかを明確にする。		
10	自己分析③	行動によって何が得られたかを明確にする。		
11	自己PR作成	自分の最大の特長をエピソードを交えて作成する。		
12	グループディスカッション①	グループディスカッションでは何を見られているかを知る		
13	ライフスタイル(人生観) 会社選びのこだわりと優先順位	ライフスタイルを書き出し、会社選びのこだわりを優先順位をつけ、説明できるようにする。		
14	リクナビ・マイナビ	リクナビ・マイナビへの登録 活用方法		

15	メールの送り方	メール使用上の注意点、メールの文例、資料の添付の仕方を学修する。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	その他
面接対策&ビジネスマナー（株式会社ウイネット）		提出物	20.0%	
		発表内容・姿勢	30.0%	
		期末試験	50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャリア・ デペロップメントI		ビューティー総合学科/1年	2022/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	高崎 千愛
授業の概要				
就職活動に向けて、自分が思う長所・短所、他人が思うそれとの違いを分析し、自己アピールの際での表現力の育成を目指す。あわせて、履歴書、志望動機、面接に於ける応答内容の学修。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容業界を知り、進む業界を明確にすることが出来る。</li> <li>・自己分析を行い自分の長所・短所が説明できる。</li> <li>・文章で自分の思いを伝え事が出来る。</li> <li>・自分の思いを言葉で相手に伝える事が出来る。</li> </ul>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エステティシャンとして、10年間接客や販売などサロン運営の実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
授業内で作成出来なかったワークは宿題とする。予習と復習を各時間ごとに行う				
回	テーマ	学修内容		
1	就職について 履歴書・エントリーシート・面接の目的	履歴書・エントリーシートの重要性。面接がなぜ行われるのか・採用担当者が求めるものを考える。面接試験の形式について学修する。		
2	自己PR作成①	自分の強みをしり、キャッチコピーを作る。		
3	自己PR作成②	キャッチコピーを含め自己PR文章を作成する。		
4	志望動機作成①	志望動機の作り方を学ぶ。		
5	志望動機作成②	なぜその業界に入りたいのかを文章にて作成する。		
6	就職特講 履歴書の正しい書き方について	就職活動に向けて履歴書の正しい書き方を学ぶ。実際に書いてみる。		
7	面接でのスピーチ練習	自己PRを言葉にして相手に伝える事を学ぶ		
8	面接でのスピーチ練習	志望動機を言葉にして相手に伝える事を学ぶ		
9	グループディスカッション②	4～5名のチームを編成し、テーマに基づきディスカッションを行う。		
10	商品プレゼン①	商品のプレゼンを行う為に必要な情報を知る		
11	商品プレゼン②	商品のプレゼン発表		
12	面接練習①	面接会場への入室から退室までの一連の動作やマナーを学修し、ロールプレイングを行う。		
13	面接練習②	集団面接練習		
14	面接練習③	個人面接練習		

15	面接練習④	リモート面接練習		
	教科書・教材	成績評価の方法	評価率	その他
	面接対策&ビジネスマナー（株式会社ウイネット）	提出物 発表内容・姿勢 期末試験	20.0% 30.0% 50.0%	